

# 実習幹部186人を心から歓迎



練習艦隊一行らとの和やかな交歓（4月17日：商工観光センター）

海上自衛隊練習艦隊（司令官 眞鍋浩司海将補、3隻、乗員約710名、内実習幹部186名）が去る4月17日から19日の間、舞鶴に寄港しました。17日午前9時、北吸岸壁に当所小西会頭や自衛隊支援団体代表者他多数が入港を出迎え。舞鶴市側を代表して多々見市長の歓迎の言葉に続いて、乗員代表と実習幹部に花束や記念品を贈呈しました。

同日午後6時30分からは、舞鶴市商工観光センターコンベンションホールにおいて、当所他5団体が主催し、市民ら約160名が実習幹部全員を迎えての入港歓迎会を開催しました。近傍出身実習幹部の紹介や参加者全員で隊歌「海をゆく」を合唱するなど、歓談を通じて実習幹部の意気込みを感じ、大いに交流を深めるとともに、乗員、実習幹部の活躍とこれからの遠洋練習航海の安全を願った歓迎会でした。

また、翌日には、当所青年部が参画し「赤れんがパブ」が実施されました。

なお、期間中、商店街や飲食店には横断幕や歓迎

ビラが掲示され練習艦隊の入港を歓迎しました。

当所では、例年、入港歓迎会において、会頭から練習艦隊司令官に「日本人形」を寄託し、遠洋練習航海寄港先で国際親善に役立てていただいております。今年も小西会頭から眞鍋司令官に寄託されました。（昨年寄託の日本人形は、舞鶴市の姉妹都市であるイギリスポーツマス市に寄港の折、ポーツマス市長に贈呈されました。）



小西会頭（左）が眞鍋司令官へ寄託